広報 はちまんたい
2010.6.3
No.105

CONTENTS

●目次
02 Zoom Up 人　大森美葉さん
03 連載企画
スキーインターハイの舞台へ
08 ハチマンタイラーテーマ曲完成
焼走りマラソン全国大会開催
「農と輝　大地の食財　八幡平フェア」開催中
09 各課からのHOT LINE
浄化槽設置希望者募集
広報はちまんたいへＰＲ広告を
市・県民税に関するお知らせ
10 Photo Topics
小中学校運動会・体育祭
12 話題ピックアップ
「桜と雪の回廊観光キャンペーン」イベント　ほか
14 福祉ネットワーク
保健のひろば　環境のみらい
介護のココロ
15 まちの企業探検隊⑥
われらスポーツ少年団
16 博物館だより　図書館だより
17 よろこび　おくやみ
広報クイズ　人口の動き
18 INFORMATION
20 八幡平いにしえの宝
木造釈迦如来坐像

今月の表紙

５月12日の「看護の日」に合わせて、西根病院では５月13・14日、「ふれあい看護体験」を行いました。平舘高校や盛岡農業高校などの生徒17人が参加。白衣に身を包んだ生徒たちは、看護師の指導を受けながら足浴や食事の介助など入院患者の身の回りの世話を体験しました。

Zoom Up 人

大森　美葉 さん

おおもり・みは　柏台小学校６年　柏台三丁目

◎*profile*

1998年八幡平市（旧松尾村）生まれ。３歳からテニスを始める。昨年10月に行われた東北春季ジュニアテニス大会岩手県予選会（U12・女子シングルス）から同世代の県内大会は３連勝中。好きな選手はロジャー・フェデラー（スイス）。尊敬する人はお父さんと鍋倉杏沙（ぎょうさ）選手（盛岡市・北松園中）。「負けず嫌いで、明るく、前向きな性格」と自己分析。身長160㌢、血液型Ｏ型のふたご座、11歳。

圧倒的強さで栄冠掴む
東北大会狙うは優勝

昨年の雪辱を果たす―。そう誓い、コートに立った。

４月11・18日に県営運動公園で開かれた第29回県小学校テニス選手権大会女子シングルス。４試合で奪われたのは３ゲームと圧倒的な強さで優勝した。続く５月４、５、９日に同会場で開かれた第31回県ジュニア選手権大会（U―12・女子シングルス）も制し、県内の同世代で実力は群を抜いている。

「テニスは生活の一部」という通り、父・實さんの指導のもと、週４日・約20時間練習に励む。持ち味のフォアハンドから繰り出されるパワフルなショットとラリー負けしない粘り強さは、厳しい練習に耐えてきたたまものだ。

６月19日から青森県青森市で開催される東北小学校テニス選手権大会では「優勝を狙う」ときっぱり。

「将来は大きな舞台で戦える選手になりたい」と目標を語る彼女の目は、すでに世界へ向いていた。

連載企画

スキーインターハイの舞台へ

20年度は第82回全日本学生スキー選手権大会（インカレ）、昨年度は第47回全国中学校スキー大会とスキーの全国大会が開催されている県内の“スキーの聖地”八幡平市。本年度は、来年の２月６日から10日まで第60回全国高等学校スキー大会が八幡平市で開催される。そこで、今月号から出場が期待される市内の選手を紹介していく。今回は市に唯一ある高校、平舘高校の選手。これからみんなで地元の選手を応援していこう。

生まれ育った地で大舞台 地元の声援を力に変える

生まれ育った土地で開かれる全国の舞台に出場できること―。そんなチャンスはめったに巡ってこない。２人にはその可能性がある。

仙澤さんは、小さいころは野球や水泳に取り組んでいたが「いろいろなことに挑戦したい」と中学校から本格的にスキーを始めた。他の選手よりスタートが遅れたため、「スピードへの対応が課題」というが、身体能力の高さと豊富な練習量でカバーする。倒れるほど練習で全力を出したり、黙々と自主トレーニングをしたりする姿はまさに「練習の虫」だ。

父・文彦さんに連れていってもらい、小学校４年生からスキーを始めた木村さんは「無我夢中で滑ったタイムが結果につながる」とスキーの醍醐味を語る。

佐々木洋幸監督いわく「アドバイスに耳を傾ける冷静さとアルペン選手に必要な要素である闘争心を併せ持つ攻撃的な滑り」が持ち味だが、本人は「滑りに無駄をなくし、スピードを落とさずにターンすること」を課題に挙げる。

インターハイに向けて、「今年は勝負の年。一日一日のトレーニングを大切にして、全国の強豪が集う大会に出場したい」と仙澤さん。「前回大会（２月・北海道）に出場して、全国のレベルの差を痛感した。夏場の練習を乗り越えて、大会では一つでも順位を上げたい」と木村さん。

２人は、地元の声援を力に変え、インターハイの舞台に立つことを誓う。

仙澤　健太 さん
そまざわ・けんた　平舘３年　時森

◎profile
中学校から本格的に競技を始める。好きな選手は湯浅直樹。スポーツは全般的に何でもこなす。平舘高校スキー部部長。身長165㌢。血液型Ａ型のやぎ座。17歳。松野小→松尾中卒

木村　優 さん
きむら・ゆう　平舘３年　上野駄

◎profile
小４から競技を始める。昨シーズンは県高等学校スキー大会ＧＳＬ２位入賞。好きな選手は湯浅直樹。特技は水泳。身長170㌢。血液型Ｏ型のいて座。17歳。松野小→松尾中卒

高校生最後の年 全国入賞が目標

松島　裕也 さん
まつしま・ゆうや　平舘３年

◎profile
小２からスキーを始める。昨シーズンは東北高等学校スキー選手権ＳＬ６位ほか入賞。好きな選手は湯浅直樹。平舘高校スキー部主将。身長176㌢。血液型Ｏ型のふたご座。17歳。

本気でスキーをやろうと思い、平舘高校に来た―。松島さんは、一関市・桜町中学校卒業。中学校までは野球との二足のわらじを履いていたが、「スキーは自分の努力次第で結果が付いてくる」とスキーの魅力に引かれ、高校からスキー一本で行くことを決め、平舘高校に進学した。普段は無口であるが、内に秘めた闘志は人一倍。スキー部主将は基本を大切に練習する姿で部員を引っ張る。

「オフシーズンを大事にして、満足に仕上げた姿でシーズンに臨みたい。インターハイでは上位入賞」と松島さんは目標を語った。

夏場に努力重ね まずは予選突破

高金　一樹 さん
たかがね・かずき　平舘３年

◎profile
小１からスキーを始める。昨シーズンは東北高等学校スキー選手権に出場。好きな選手はテッド・リゲティ（アメリカ）。尊敬する人は西村剛先輩。身長156㌢。血液型Ｂ型のみずがめ座。17歳。

機械体操と迷った末、スキーを選んだ。中３の大会結果が自信につながり、さらに上を目指すために、一関市・東山中学校から平舘高校に進学した。

けがをして夏場のトレーニング不足がシーズンの滑りに影響することを知る高金さんは、今の時期のトレーニングに集中している。

「地元でのインターハイだからといってあまり意識はしない」と言いながらも「まずは県予選をトップで通過し、本大会の第１グループを取る。全国でどの程度通用するか確かめたい」と、出場に照準を合わせている。

地元の大会で 勇姿を見せる

佐々木佑磨 さん
ささき・ゆうま　平舘２年

◎profile
２歳からスキーを始める。昨シーズンは東北高等学校スキー選手権に出場。好きな選手は皆川賢太郎。好きな言葉は「努力は実る」身長171㌢。血液型ＡＢ型のてんびん座。16歳。

スキー部で唯一２年生の佐々木さん。尊敬する先輩たちと楽しみながら練習に取り組みつつ、さらなるレベルアップのために、盛岡市玉山区の自宅から約15㌔の道のりを自転車で通学する姿は負けたくないという気持ちからくるものだろうか。

「地元でのインターハイに出場できるチャンスはめったにない。両親に成長した姿を見せるために、出場して一つでも上の順位を狙いたい」と語る佐々木さん。２歳からスキーを始め、今までスキーを続けさせてくれている両親への感謝を忘れない。

スキーができる喜びを全国の舞台にぶつける

大森　真弓 さん

おおもり・まゆみ　平舘３年

◎profile

３歳からスキーを始める。昨シーズンは東北高等学校スキー選手権に出場。好きな選手は眞田ひばり(早稲田大)。特技はインラインスケート。身長163㌢、血液型Ｏ型のてんびん座。17歳。

村田　夏貴 さん

むらた・なつき　平舘３年

◎profile

小１からスキーを始める。昨シーズンは全日本選抜ジュニアスキー選手権大会ＳＧ10位ほか入賞。好きな選手はベンジャミン・ライヒ(オーストリア)。身長160㌢、血液型Ｂ型のふたご座。17歳。

２人には共通点がある。市外から平舘高校に進学したこと（大森さん＝千葉県・長南中学校、村田さん＝一関市・山目中学校）、共にスキーが大好きで、スキーに対する情熱があふれているということ―。

父親に連れられ、小学校３年生からコーチのいる新潟で冬を過ごした大森さんは、スキー漬けの毎日を送ることで、自分が上達していくのを実感し、スキーにのめり込んでいった。そして、スキーを第一に考えて平舘高校に進学。昨年１月に股関節を脱臼し入院したが、そのことが人一倍体調管理に気を付けるきっかけとなった。

村田さんは、中学校まで続けたバスケットボールもスキーのトレーニングの一環と捉えるなど、スキー中心の生活を送ってきた。中２に腰を痛め半年間入院、中３の１月には靭帯を切る大けがを負い、普通ならスキーをやめてしまうところも「あせらず・あなどらず・あきらめず」をモットーに懸命のリハビリで競技に復帰した。

インターハイの目標は「八幡平市は第２のふるさと。出場するなら表彰台の一番高いところに立ちたい」と大森さん。「３年間の集大成。今までの成果を出し切り、狙うは入賞」と村田さん。

冷めることのない２人のスキーへの情熱が、全国の舞台で実を結ぶはずだ。

●平舘高校スキー部

これまで各種大会で多数入賞を果たし、多くの選手を輩出している。本年度から男子スキー部が県のスポーツ特別強化指定校になった。前回のインターハイでは新里尚子選手(現・東海大、写真)が女子回転で準優勝した。

■■■ I N T E R V I E W ■■■

佐々木洋幸監督

Hiroyuki Sasaki

両親や学校、ＯＢ、地域の理解があり、選手たちは県内一環境の恵まれた八幡平市でスキーに打ち込んでいます。小さい子どもたちに夢を与えるためにも、選手の成長した姿を地元のインターハイでお見せします。応援よろしくお願いします。

第60回全国高等学校スキー大会開幕まで248日

約40人が出席して行われた設立総会・第１回総会

Topics❶

実行委員会を設立

22年度全国高等学校総合体育大会第60回全国高等学校スキー大会実行委員会設立総会は５月20日、市総合福祉センターで行われました。

県高等学校体育連盟山田市雄会長（盛岡三高校長）が「大会には選手・役員など合わせて約2,000人が参加する。選手が実力を十分に発揮し、来ていただいた人に喜んでもらえるよう、成功へ向け協力をお願いしたい」とあいさつ。実行委員会会長に山田会長を選びました。

続いて行われた第１回総会では、事業計画および収支予算案を承認。予算規模は5,000万円で、市は1,500万円を補助します。

同大会は市としては初めての開催となりますが、旧安代町で、第26回(昭和52年)・36回(昭和62年)・46回(平成９年)に開かれています。

Topics❷

スローガン・シンボルマーク・ポスター図案決定

同大会のスローガン・シンボルマーク・ポスター図案は、すでに以下のとおり決定しています。
(学年は受賞当時のもの)

■スローガン(応募総数1,330)

「雪原に馳(は)せる情熱　イーハトーブの華となれ」

盛岡第一高校２年　風張　沙樹さん

■シンボルマーク(応募総数221)

盛岡第二高校２年
中舘　優希子さん

■ポスター図案(応募総数47)

不来方高校２年
柴田　望さん